

評価対象年度 平成20年度

政策評価シート

政策 2

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	2	観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	政策担当部局	経済商工観光部、総務部、企画部、農林水産部、土木部
				評価担当部局	経済商工観光部

政策の状況

政策で取り組む内容

商業・サービス産業は、宮城県経済において最も規模の大きな産業であり、その需要の創出・拡大と生産性の向上は重要な課題となっている。その中でも、観光関連産業は、経済波及効果の大きい分野であり、今後の宮城県経済の成長のカギとなる。このため新たな集客交流資源の創出や既存の資源の磨き上げ、顧客ニーズを意識した情報発信を行うなど、「観光王国」としての体制整備を東北各県などと連携しながら戦略的に進める。

また、情報関連産業、環境関連産業、広告・物流等の「対事業所サービス業」や、高齢社会の到来に伴い市場の拡大が見込まれる健康福祉サービス業に代表される「対個人サービス業」においても、数多くの事業者が参入し、新たな高付加価値サービスが創出されるよう、新事業創出支援の基盤を強化する。

さらに、地域商業についても、安定して事業が継続できるような時代に対応した経営力の強化を支援するとともに、まちづくりと連携した地域活性化につながる商店街づくりを推進する。

こうした取組により、平成28年度までに、商業・サービス産業全体の付加価値額の2割増を目指す。特に、観光客入込数は2割増、情報関連産業は売上げの3割増、さらには健康福祉サービス業の大幅な成長を目指す。

政策を構成する施策の状況

施策番号	施策の名称	事業費 (決算(見込)額、施策の事業費合計)	目標指標等の状況			施策評価
			現況値 (測定年度)	達成度		
4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	1,932,567千円	サービス業の付加価値額	22,129億円 (平成18年度)	B	概ね順調
			情報関連産業売上高	2,262億円 (平成19年度)	B	
			企業立地件数(ソフトウェアハウス・コールセンター・BPOオフィス)	28社 (平成20年度)	B	
5	地域が潤う、訪れよしの観光王国みやぎの実現	200,364千円	観光客入込数	5,788万人 (平成19年度)	A	概ね順調
			宿泊観光客数	823万人 (平成19年度)	B	
			都市と農村の交流人口	2,979万人 (平成19年度)	A	

目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している。」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している。」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している。」
 N:「現況値が把握できず、判定できない。」

政策評価(総括)

政策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由・各施策の成果の状況
各施策の成果等から見て、政策の進捗状況はどうなっているか。	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化に向けて2つの施策で取り組んだ。 施策4では、サービス産業創出・高付加価値化促進事業の新たな取組として「サービス開発プロジェクト」を実施し、2つのプランが事業展開している。 県内IT関連企業等のビジネスプランへの支援やIT技術者等の育成などにより、情報関連産業の売上が概ね順調に伸びている。 施策5では、平成20年10～12月に開催した「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)」に合わせ、地域観光資源の磨き上げ、さまざまな情報発信、イベント開催など実施したことにより、DC期間中、前年同期と比べ観光客入込数が107.0%となるなど、DCの取組成果が現れた。(地震による風評被害や経済情勢の悪化により宿泊客数は94.3%) 農家レストランや直売所の設置数が順調に伸びており、農山漁村地域への観光客入込数も伸びていることから、グリーン・ツーリズムが地域観光にある程度貢献している。 DCなどを契機に、グリーン・ツーリズムと観光行政との連携が進んできている。 以上のことから、「観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化」は、概ね順調に推移していると考えられる。

政策を推進する上での課題等と対応方針 施策の必要性・有効性・効率性の観点からの課題等と次年度の対応方針

・県民意識調査において「地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援」、「地域商業の活性化支援」への取組を優先すべきとの意見が多いことから、これらに対応した事業の強化・拡充を検討する必要がある。

・商業・サービス産業の生産性向上、付加価値の向上を図るため、新たな事業創出や事業プランのブラッシュアップなどの支援を一層進めていく必要がある。